

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	浜益高齢者生活福祉センター運営事業	2-20
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部地域包括支援センター	直通電話	72-7017
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	田森 正廣
		担当者	浅野 貴雄

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	高齢者生活福祉センターの運営 ・石狩市はますデイサービスセンター ・居住サービスセンター(生活支援ハウス) ・石狩市訪問介護事業所はます		
(2)事業開始年度	平成10年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	自立支援サービスの充実	
	施策コード	20201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	65歳以上の高齢者の福祉の向上を総合的に推進する。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何が どんな状態になる)ように	居住サービスセンター(生活支援ハウス)は、65歳以上で独立して日常生活を送ることに不安のある高齢者が安心して生活できるようにする。老人デイサービスセンターは居宅の虚弱老人及び寝たきり老人等に対し、福祉の増進と自立を図るとともに、その家族の負担の軽減を図る。自力では困難な行為について、同居家族の支援などが受けられない場合にホームヘルプのサービスを提供し、地域で安心した生活を送れるようにする。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	指定管理者制度を導入し、管理運営を委託する。
(4)19年度に改善した事項、 重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の 類似事業など	浜益シルバーホーム運営事業(居住サービスセンター)
(6)事業の立案や実施における 協働の視点	平成19年度から指定管理制度を導入している。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	29,612	25,153	10,944	11,570
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	1,726	1,657	1,794	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	31,338	26,810	12,738	
事務に従事した正職員延べ人数	0.20	0.20	0.20	

4 事業に投入した行政資源の減額内容										
収入	区分	H17	H18	H19		区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)									
	平成19年から指定管理者制度を導入したことにより、利用料金等の収入が直接指定管理者の収入になることから、市からの委託料(直接事業費)を減額している。									
	計(B)	0	0	0	0	計	0	0	0	0
	(A/B)									

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
居住サービスセンター(生活支援ハウス)入所者数(延月)	目標値	96	96	96	96
	実績値	72	72	71	
	達成率	75.0	75.0	74.0	
老人デイサービスセンター利用者数(延人)	目標値	2,600	2,600	2,600	2,600
	実績値	2,554	2,803	2,570	
	達成率	98.2	107.8	98.8	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
居住サービスセンター(生活支援ハウス)稼働率(%)	目標値	100	100	100	100
	実績値	75.0	75.0	74.0	
	達成率	-	-	-	
老人デイサービスセンター利用率(%)	目標値	100	100	100	100
	実績値	98.2	107.8	98.8	
	達成率	-	-	-	
訪問介護利用者数(延人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	1,306	1,263	875	
	達成率	-	-	-	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	1
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	イ 成果 1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
(2) 効率性		ウ 事業内容 1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い	2
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	(1)~(4)の評価ポイント合計	
さらなる受益者負担は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	総合評価の参考にしてください。	
		7~11	A or B
		12~15	B or C
		16~21	D or E
		14	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的として、平成19年度からの2年で指定管理者制度を導入し運営しており経費の削減が図れており、訪問介護については施設利用等への移行等により利用者減になっている。また、浜益地区にはデイサービス、訪問事業所は1つしかなく高齢者が健康で安心した生活を送っていただくために有効であり、当該事業は必要である。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		浜益地域で事業展開している他の福祉施設との一体化した指定管理者制度の活用を検討する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		浜益区内の高齢者に対し、通所介護サービスや訪問介護サービスを提供。また、居住サービスも生活支援ハウスとして運営されている。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		市内で一番高齢化率が高い地域性を勘案し、地域高齢者に対するサービスの充実を図る検討が必要。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		区内の他の類似施設の一体管理を進め、効率的な運営を図る。	